

積み重ねた努力があったから、 大きなチャンスを掴み取れた。

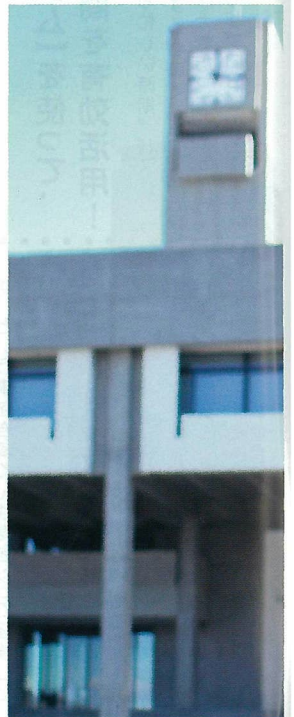
「何かが変われば…」
そんな思いから始まった。

今岡さんが受験勉強を始めたのは高校2年生の春、塾に置いてあったプロコビのパンフレットを目にした事が受講のきっかけだった。
「ちょうどその頃、成績が伸びずに悩んでいたんです。だから『何かが変われば』という気持ちで受講してみようと思ったんです。」
初めて受講した授業は、奥川先生の「入試実践ⅠA・ⅡB」だった。映像授業自体が初めてだった事もあり、受講前は「ただ授業映像を



名古屋大学
[農学部]

三重県 私立
高田高等学校 卒業



やすい」「この解法を使えば速く解ける」など、受験を研究してきた予備校講師ならではの指導に好印象を抱いたという。

「センターの対策講座がとても印象的でした。例えば矢崎先生の「センター対策／漢文」では、受験で頻出の構文や熟語をピックアップしてくれていて、「これだけを覚えれば試験で得点が取れる」という様に、無駄なくピンポイントで教えてくれるのが良かったですね。もちろん実際にセンター試験でも的中していて驚きました！本当に得点をアップさせてくれる講座なんだなって感激しましたね。」

「がむしゃらに勉強していただけでは間に合わなかったかも知れません。」とも今岡さんは語ってくれた。プロによる傾向と対策があったからこそ、短期間で効率良く勉強できたという。

**3段階で成績上昇、そして
舞い込んだ大きなチャンス！**

また、学校の課題が多く忙しかった今岡さんにとって、予習不要の「3段階学習システム」は最適な学習システムだった。

「課題が多くて予習する暇がなかったので、凄く助かりました。それに3段階で学習すると、今まで解けなかった問題も直前に解説を聞いていたのでスラスラと解けるんですよ。あれ？こんな簡単に解けるんだ！という感じで、本当に自信につながりました！」

こうして学校の成績も順調に伸び、上位で安定するようになった事で、今岡さんに大きなチャンスが訪れる。センター試験直前の11月、担任の先生より、公募推薦を狙ってみないかと打診されたのだ。

1学科12名の狭き門、センター試験が課せられ、9割得点が必要と言われる名古屋大学の公募推薦だったが、先生の「今の成績なら狙える！」という後押しもあり、公募推薦に絞って最後の追い込みをかけた。

**苦手を作らない学習で
最高得点をマーク！**

そして迎えたセンター試験当日。プロコビを使って苦手科目を克服し、全体的に底上げを行う様に学習した結果、見事に公募推薦の合格点を達成。特に得意の英語では筆記満点を叩きだす大健闘を見た。

こうして今岡さんは積み重ねた努力で、公募推薦という大きなチャンスを掴みとったのだ。

最後に今岡さんはこんなメッセージを残してくれた。
「受験勉強はとても苦しいです。私は一緒に勉強する友達に本当に支えられました。友達がいいたら乗り越えられました。皆さんも一人で悩まず、一緒に頑張れる仲間を見つけて下さい。諦めず努力すれば必ずと結果はついてきます！頑張ってください！」

今岡さんの「イチオシ講座」はコレ！

センター対策／古文

古文はとにかく単語を覚えなさいと思っていたのですが、岡崎先生の古文では「その単語がプラスかマイナスかのイメージさえわかれば単語がわからなくても解ける」という独特な解法で、実際に試験本番でもこの「ブライ古文」にすく助けられました！

センター対策／現代文(究極の9割目標)

「[しかし]が来たらこう解く!」など、現代文を論理的に考える今までに無い解き方でした。この授業を受けたおかげもあり、安定しなかった現代文の点数も、常に高得点を維持できるようになりました。

「必要な知識・情報は、全てきちんと授業に組み込まれていたんだな」というのが、試験を受けて、より実感できました。さすがにプロの授業ですね!本当に受けてよかったです!!

